

平成 28 年度 第 2 回泉区地域福祉保健推進協議会 会議録

日 時 平成 29 年 1 月 18 日（水曜日）14 時～16 時

会 場 泉区役所 4 階 AB 会議室

出 席 46 名

内 容

1 開会あいさつ

2 横浜市いずみ野地域ケアプラザの開所について

3 意見交換

各グループに分かれ、「28 年度の各所属の取組について振り返り」など意見交換を行った。

○「連携」という視点で話し合われた内容について

1 グループ（6 地区、1 ケアプラザ、泉警察署）

・地域特性を踏まえた住民同士の支え合いの取組として、上飯田団地地区では一人暮らしの人が孤立しないよう団地の中で見守り活動を実施、外国籍が多いいちょう団地ではスローガンにあいさつ運動を掲げている。環境の整備、見守り活動、井戸端会議は防犯面でも役立つ。

・今後に向けては、今まで地域活動に参画したことがない人たちや若い世代の人たちにもっと参加してもらえるようにしたい。また、これまでの取組を地道に継続していくことも大切なことである。

2 グループ（6 地区、2 ケアプラザ、泉消防署）

・地区の中での各関係機関との連携を目指した取組として、和泉中央地区では、地域の活動を理解しお互い協力し合える関係づくりが進められるよう推進委員会で自治会の取組や青少年指導員の活動を発表、富士見が丘地区では障害者施設と交流を図るために毎年富士見が丘まつりに模擬店の出店とパネル展示に協力していただいている。

・中田地区では、地域防災拠点での障害者の受入れについて部会で検討し、出前講座で障害者自らお話しいただいた。地域と関係機関との連携においては、具体的な目標を設定し、テ

ーマを絞って話し合うことが大事である。

3 グループ（関係機関・団体）

・保健活動推進員や民生委員・児童委員は、地域の行事や活動団体、学校へ出向き活動できている一方で、関係機関同士が関わる場や機会をより多く持てるよう、横のつながりを作ること、定期的に関わることが課題となっている面もある。

・見守り活動でも、連携し、日々気を付けて見てくださるなどお互いを補完し合える関係が築けるとよい。

・まずは自身の活動を知ってもらうことも大事なことである。

4 グループ（施設）

・「いずみっこひろば」では、各機関のPRや情報発信をする場として開催しているが、そこに参加した関係機関同士の情報交換や研修の場にもなっている。

・泉区地域福祉保健計画推進イベントもあるので、そこに参加・協力することで団体の取組を紹介できる。

4 泉区地域包括ケアシステムの構築に向けた行動指針の策定について

5 閉会あいさつ